

認定NPO法人

会報

日本車椅子レクダンス協会

矢車草



NPO法人認証
平成11年6月30日
認定NPO法人
平成27年8月1日

設立 平成7年7月1日

2019 [平成31年]

1.1 No.37



日韓交流大会 (韓国観光)

「最近の活動について」

理事長 黒木実馬

皆様、明けましておめでとうございます。今年も新年号になる年であり、気持ちも新しくなるような気がします。

私達の活動も、法人化から20年を迎えます。個人的な活動から始まった団体としては、十分に長い方だと思

います。しかし法人化した以上は、それぞれの個人的な思いとは別に、活動を継続していく責任というものも極めて重要だと思っています。

これまで年に一度の全国大会、年に数曲の新曲提供、そして活動の主を施設訪問に置いて、全国各地での活動が継続されています。とても有難いことです。しかしながら、本活動に最初の頃から関わってもらいました方々

も、60歳で始めた人が80歳になるわけですから、新しい会員の確保がなかなか困難な今、これまで通りの活動を継続しようとする無理が生じます。ボランティア活動の原則は、やれる時にやれるだけのことをやるということですが、無理をすべきではありません。

今年度は韓国で全国大会を開催しました関係



新曲研究会

で、国内での大会はありませんでした。その分、本部としても僅かながら余裕がありました。そして来年の全国大会のために、開催を予定する久留米アリーナで、来年度のためのプレ大会を催し、大会本番のための貴重な資料を得ることができました。また新曲につきましても、3曲4曲と提供されてもついでいけないという声も耳にします。

今後長く活動を継続するために、無理の無い運営を目指したいと思っていますので、次の総会で諮っていきま

すが、全国大会を2年に一度とし、新曲も1〜2曲に減らす考えです。大会の前年には、開催の地元だけでプレ大会を行い、次の年に同じ会場で全国大会を開催すれば、準備も余裕ができます。新曲講習会でも願っています。新曲講習会等での経費の協賛も、一度の大会に2年分の協賛金を運用することができま

す。これは活動の後退ではなく、無理なく継続するための前進と捉え、これからは皆様の協力を得ながら、楽しい活動を展開していく所存ですので、ご協力宜しくお願



住所：〒830-0048
福岡県久留米市梅満町 1190-1-103
名称：認定NPO法人
日本車椅子レクダンス協会
代表：理事長 黒木実馬
電話：0942-36-8280
F a x：0942-36-8281
携 帯：090-8900-9492
H P：http://www.wsda.jp
Eメール：ya23322@ta2.so-net.ne.jp

日韓交流大会 について

9月15日、ソウル市正立会館において「第21回ふれあいフェスティバル（日韓交流大会）」を開催しました。前日からソウル入りして南大門市場で買物などを楽しみ、ホテル建物内のレストランで交流会を行いました。



白善燁大将閣下と

大会当日は、まず戦争記念館で白善燁大将閣下を表敬訪問、98歳の今もお元気に様々なお話をしていたいただきました。大会は正立会館内の施設を見学した後、昼食でビンバ弁当をいただき体育館に集まり、Kポップの踊りや伝統的な踊り・演奏を見学した後、地元の人と日本からの参加者合わせて約300名が参加して楽しい一日を過ごしました。一番驚いたのは、韓国の人たちが、独自で新し



民族舞踊披露



日韓交流の踊り

い踊りを何曲も創作しているとともに、日本の踊りもすっかり覚えていた事でした。これまで17年前から韓国で車椅子ダンスの普及に努めてきましたが、ようやく韓国で日本と同じように普及したという事を感じ、感無量でした。これからも日韓両国で楽しめれば良いなと思っています。交流会を終了後は、場所を変えて懇親会。ここでもKポップの歌手が歌い踊り、韓国独特の琴や笛の演奏、日本からも但馬さんの手品と、おおいに盛り上がりました。また美味しい韓国料理のケータリングで、交流大会を満喫しました。



大会が終わり集合写真

3日目は景福宮や東大門城壁資料館や国立博物館を見学し、買い物も楽しんで、仁川・金浦の空港から国内のそれぞれの空港に向かいました。お互い、来年の再会を誓って、大きな想いを抱えて帰国しました。

久留米大会へのお誘い

久留米支部長 木下 一

韓国大会に楽しく参加し、終了時に大会旗を受け取ってきました。いよいよ1年後は久留米市での全国大会です。韓国大会が素晴らしく、出し物も豊富でしたのでプレッシャーを感じますが、久留米では余り手間もお金もかけずに、車椅子レクダンスそのものを楽しんでもらいたいと思っております。と言っても素敵な友情出演を準備していますのでご心配無く。日時は9月28日（土）を予定しています。どうぞご参加下さい。



観光も終了し帰路へ

大会を開催して

韓国の広報誌を翻訳し、紙面の関係の一部を記載します。

翻訳 久留米支部 蒲池ゆみ

車椅子レクダンス交流大会のために実行委員会を結成し6月最初の会議を進行して何回かの会議を通して進行に必要な様々な内容を議論して、新曲振付と体慣らしの準備体操の動きを完成させました。

大会当日は各種催しを通じ、車椅子レクダンスの多彩さを感じ、障害者と健常者の親睦と交流の場になり、意義深い時間を過ごすことができました。

一生に一度しかない縁



支部便り

千葉東総

韓国大会に臨んで

千葉東総支部長 加瀬佑子

前夜祭には、韓国小児麻痺協会理事長をはじめ、数名の方のご臨席を頂き、大歓迎を頂きました。

歓迎ムードに飾られた交流大会会場では、祝賀公演の民族舞踊の後、一同で車椅子社交ダンスを皮切りに、韓国のレクダンス新曲、日本の新曲を披露。次々と流れる両国の曲に、レクダンスは韓国でも確かに浸透しており、曲がかれば互いに手を取り合って踊る事が出来、施設の職員の人たちや、子供たちもとても上手で、楽しさが伝わる歓迎、感謝の素晴らしい大会でした。



千葉県連行事風景

新潟県連

黒石支部

守口支部



「ふれあいサマーフェスタ越後長岡2」での様子

新潟県連

会長 須貝 観子

8月4日に、長岡市社会福祉センター・トモシアで、「ふれあいサマーフェスタ越後長岡2」が開催されました。

これは、新潟県連主催の県大会および総会として、毎年新潟県内各地で実施されているものです。今年も、一般参加者を含め20名以上が参加し、普段の施設訪問等であまり踊らない曲を中心に、「リクエストおさらい会」を行い、良い交流の場となりました。

来年度は、燕地域での養成講座開催と、施設訪問を予定しています。この活動をきっかけとして、施設からの訪問依頼要請に対応できるような活動拠点の立ち上げになればと思っています。

黒石支部

黒石支部長 北山 節子

6月に、青森県では恒例となりました「あしたばの里黒石」訪問を行いました。青森県連の多くの人たちが、毎年一緒に訪問してくれまます。今回で9回目となり、レクダンスや歌、マンボなどの多彩なプログラムで交流しました。

「津軽弁ラジオ体操」で体をほぐし、全員で「リングの唄」を合唱、「ビュティフル・サンデー」でジャンケンポン、エビかにダンスで賑やかに、最後は「黒石よされ」でエッチャホー。今年も元気に施設訪問を終えることができました。

青森県はこれからも青森支部を中心に、県内支部が協力しながら活動していきます。

津軽新聞に大きく報道されました



活動の仲間入り

守口支部長 竹内 豊



スポレク大会風景

ご縁を戴き、440番目の支部になりました大阪府の守口支部です。9月にできたばかりですが、10月の京阪ブロック障がい者スポレク大会に、近郊支部とともに参加いたしました。会場で大きな拍手を戴き、感動いたしました。今後も頑張っ活動していきますので、宜しくお願いします。



大会トピックス



南山タワーの夜景

今回の最年少参加者は、青森県五所川原支部から、祖母の江良陽子さんとともに参加した、高校三年生の笠井こころさん。高校生活最後の想い出に、韓国を旅行したくて参加しました。ちよつと飛行機に酔ったこともありましたが、皆さんとも馴染み、大会でもしつかり踊りました。閣下にも声をかけられ、良い想い出になりました。



◎全国大会プレ大会開催

9月29日(土)、久留米市に新築されました久留米アリーナで、プレ大会を開催しました。来年同期・同場所で開催し、会を開催しますので、そのためのプレ大会です。当日は台風の接近が心配される中、何とか天候も保たれ、約300人の参加で開催することができました。



久留米アリーナは広々

参加者は協会の福岡県内にある11の支部以外にも、山口、長崎、熊本からありました。また小郡市内の平岡学園福祉専門学校の生徒を初め、久留米大学、聖マリア学院、ジブラルタ生命や久留米市・広川町か

らのボランティアに支援していただきました。また久留米市社会福祉協議会からの見学や、小郡市や大刀洗町の社会福祉協議会ボランティア連合会からの研修参加がありました。大会は信愛学院のマーチングバンド、ひよつとこ踊り、藤間社中による民謡指導や、車椅子の階段昇降展示などを交え、車椅子でのレクダンス、フォークダンス及び社交ダンスを楽しみました。来年は全国大会として、さらに大勢の方々にご参加いただき、楽しく開催したいと思っております。皆様のご参加を願います。



太陽生命財団助成金贈呈式

◎最近のご協賛等へのお礼

丸紅基金様から音響機器購入並びに新パンフレット作成のために160万円戴きました。今回の日韓交流大会開催直前に、西日本国際財団様から20万円のご協賛を戴き、バス借上げ費に当てました。プレ大会及び来年の全国大会に、太陽生命厚生財団様から50万円の助成金を戴きました。また協会では毎年の事業に、日本スポーツ振興センター様及びび連合様から、活動経費の一部を助成金として戴いております。

例年の新曲講習会の場合、各会場の参加者に記念品と引き換えにご協賛戴きまして、大会運営費に活用しています。その他、久留米市懐メロの会参加者並びに一般の皆様から、毎年多くの協賛金を戴いております。またこれまでに2回のクラウドファンディングに挑戦しまして、私達の活動を見たことが無い方達からもご協賛戴き、目的を達成しております。認定NPO法人になれました事で、良い影響を受けております。私達はこれらのご厚意を無にすることなく、引き続きノーマライゼーション社会の実現に努力してまいります。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

◎各種受賞状況

これまで各支部では都道府県や市町村から、多くの表彰を受けています。これらは全国の会員の皆様が生懸命活動してこられた証です。時々紙面上でお知らせしておりますが、これから受賞される所も写真と紹介文を投稿して下さい。その他の個人表彰等も含めて、関係事項をご紹介いたします。



アジア貢献賞表彰式



レク運動普及振興功労賞表彰式

- 【黒木実馬理事長】「高円宮賞」「アジア貢献賞」「レク運動普及振興功労賞」「生涯スポーツ功労賞」
- 【福田恭子副理事長】「レク運動普及振興功労賞」「生涯スポーツ功労賞」
- 【大懸康子副理事長】「レク運動普及振興功労賞」「レク運動普及振興功労賞」
- 【永井丹穂子監事】「レク運動普及振興功労賞」
- 【石間爽子理事】「レク運動普及振興功労賞」
- 【今井豊彦理事】「レク運動普及振興功労賞」
- 【但馬莊平理事】「レク運動普及振興功労賞」

編集後記

今年の新元号となる年です。平成になった時のことを思い出します。元号は何になっても、どんな時代になるのでしょうか。楽しみです。

元号が変わっても、高齢社会が続くことに変わりはありません。私達は身体の不自由な人たちが高齢者が健常者と同じようにレクを楽しめる社会の実現のために活動しています。が、もう一つの目的は、私達自身が楽しんで、いつまでも健康に過ごし、介護保険のお世話にならない事も大きな目的の一つです。そして介護保険費増大を防ぐのは、日本全体の重要な課題でもあります。新しい元号になっても、皆で明るく楽しく活動し、お互いに少しでも長く活動できるように頑張ります。

